

ご献体頂いた方のご遺族の皆様へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	肛門挙筋神経の構成および分布に関する解剖学的研究 (B25-069)
当院の研究責任者 (所属・職位)	小川元之 (北里大学医学部解剖学 教授)
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	該当なし
本研究の概要・背景・目的	肛門挙筋(恥骨直腸筋, 恥骨尾骨筋, 腸骨尾骨筋)に分布する肛門挙筋神経の損傷は、骨盤臓器脱・尿失禁や便失禁・慢性骨盤痛症候群などの骨盤機能障害の一因とされますが、その詳細な解剖学的構造は未だ明らかではありません。 特に、進行低位直腸癌に対する肛門温存術後にしばしば見られる排便機能障害(低位前方切除後症候群)は、術中の神経損傷もその要因の一つとされており、肛門挙筋神経の詳細な解析が求められています。 本研究は、肉眼解剖および神経染色(Sihler 法)を用いて、神経の構成や奏功、分布を詳細に記録し、性別や年齢などの生理的要因を含めて系統的に評価することで、臨床応用可能な解剖学的知見の構築を目指します。
調査データ 該当期間	研究機関の長の許可日から 2029 年 3 月 31 日までの期間を対象とします。
対象となるご献体者	北里大学白菊会に登録し、死後に本学医学部解剖学単位に献体として提供された篤志献体会員のご遺体の一部を用いて行います。本学白菊会を通じて提供頂き、Clinical Anatomy Lab にて管理・保存されているご遺体(新鮮凍結屍体またはホルマリン固定屍体)、また北里大学医学部医学科の解剖実習において使用させて頂いているご遺体(ホルマリン固定屍体)を研究対象とします。
研究の方法 (使用する試料等)	対象者の背景(死亡理由、年齢、性別、身長、体重、BMI、申告書に記載された既往歴、手術瘢痕)を調査した後に解剖研究を移ります。骨盤を正中矢状断で半切した後、肛門挙筋神経を起始部から終末まで追跡し、その本数や走行、分岐パターンを記録します。神経の萎縮や変性が肉眼的に乏しい標本に対しては、特殊染色(Sihler 染色)を用いてさらに詳細な神経の観察を行います。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日：研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、北里大学医学部解剖学医局研究費を使用します。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。

お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、献体者もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも対象者に不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：北里大学医学部解剖学 教授 担 当 者：小川元之（オガワモトユキ） 電 話：042-778-8111(代表)
備 考	